

修学旅行新聞

法人協会 千代田区千代田1-17-1 (NK) 03(5259)0631
財団法人 修学旅行研究協会 東京都千代田区錦町1-17-1 (NK) 03(5259)0631
旅行研究 東京 03(5259)0631
発行人 田中 第一 00160-7-36337

財団法人全国修学旅行研究協会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

『第14回 全修協修学旅行セミナー』が【環境学習】をテーマとして開催される



修学旅行セミナー風景

去る、6月25日(金)当協会(財団法人全国修学旅行研究協会)が主催する「全修協修学旅行セミナー」が文部省をはじめ各地の教育委員会・校長会・修学旅行委員会など多数の後援・協力を得て国立教育会館(東京虎ノ門)で開催された。このセミナーは今年14回目を迎え、研究テーマを最

も今日の課題となっている「修学旅行における環境学習の取り組み」とした。当協会は、一昨年より「地球と人にやさしい修学旅行」をスローガンとして、修学旅行における環境学習の取り組みを提唱してきた。昨年は「修学旅行における環境学習研究・実践校の募集と顕彰」を実施し、全国の小中学校から研究・実践レポートの提供を受け、有識者による審査会を経て優秀校を選出し、今回のセミナーで表彰した。セミナーのプログラムとしては、前述の優秀校の先生が研究・実践内容を発表、また、特別講演として井上裕吉氏(日本特別活動学会常任理事・東京学芸大学講師)による「生きる力の育成とこれからの学校行事―環境教育の視点を生かす―」について話された。セミナーには各地の先生、旅行関係者など百名を越す出席者を数え、研究発表や特別講演を熱心に聞き入り、先に表示された学習指導要領において、「環境学習」は総合的学習の時間の課題として例示され、修学旅行で「環境」を学習することは急速に高まることと思われる。セミナーの最後に当協会



修学旅行セミナー 来賓・講師の方々風景

“3つの願い、6つの取り組み”

- 【3つの願い】
1. 共に生きる みんなの地球 山青く、水清く、風爽やかに
 2. 省エネ・リサイクル・自然保護 限りある地球を大切に
 3. 環境のいたみが分かるおもいやり やさしさのある人に
- 【6つの取り組み】
1. 自然の中で 見る・学ぶ 自然の恵み 自然の仕組み
 2. 環境を守る小さな積み重ね 子供のやること できること
 3. 自然との一体感を全身で もっと自然に溶け込もう
 4. 地域の環境 地域の暮らし 生活体験広げよう
 5. かけがえのない環境 かけがえのない遺産 遙かな歴史 感じよう
 6. 歴史が育てた生きる知恵 暮らしの文化 受け継ごう

修学旅行における環境学習研究・実践校 優秀校及び研究・実践発表

- ・岐阜県美濃加茂市立古井小学校
大 欽 由 貴 子 先生
『自分で出来ることは何か
→ 「地球(環境)にやさしいもの」への取り組み』
- ・東京都小金井市立小金井第二中学校
花 田 茂 先生
『各教科で学んだエネルギー・一環境問題を修学旅行における施設見学・作業等の体験を通じて深化・補完する。』

風紋

日の丸・君が代を国旗・国歌として法制化するための法案が閣議決定され、今開会中(八月十三日まで延長)の国会に提出された。

君が代の歴史的経緯については、世界大百科事典(平凡社)で調べてみた。現行の歌詞は、平安時代の歌謡集和漢朗詠集下巻祝歌の部にあり、それ以前、やはり平安時代の勅撰和歌集古今和歌集巻之七賀歌の部に「我君はちよにやちよに……」またさらに十世紀後半の古今和歌六帖には「我が君は千代にましませ……」として見られ、これも読み知らずとなつてゐる。儀式歌としては、明治三年(一八七〇)薩摩藩が古くから祝いごとの折に藩士が唱つていた君が代の古歌を「天皇に對し奉る礼式曲」と定めたのが始まりといふ。

曲(旋律)については、明治九年(一八七六)海軍省が宮内省雅楽課に作曲を依頼して同課楽人から曲を公募し、林広季・奥好義による合作曲が選ばれ、これに、林広守(令長・広季の父)が手を加えて広守の作曲として公表された。

演奏用としては、海軍軍楽隊教師であったドイツ人フランツ・ホン・エッケルトが吹奏楽に編曲し、明治十三年(一八八〇)十一月三日の天皇節(明治天皇の誕生日)の祝宴において初演された。

▼学校関係については、文部省が明治二十六年(一八九三)八月十二日、「祝日大祭日歌詞並楽譜」として告示し、学校で儀式の時に用いる唱歌として制定されたものである。(前)



ペンションクラスレクリエイションで 神奈川県座間町座間中学校

主張 今後の環境学習への取り組みについて

新しい教育課程において、環境学習を総合的な学習の時間の課題の一つとして例示していることは周知の通りである。環境学習の必要性・重要性はいうまでもないが、同時に環境学習の機会や場としての修学旅行の果たす役割もますます大きくなるものがあると考えられる。全修協が把握している修学旅行における環境学習のとりくみ事例から見ると、背景に環境という共通テーマをもちながらも、修

実践例をより多く収集し、まとめ、広く学校の計画・実施に供したいと考えている。先行的実践事例を参考に、学習内容の充実と創造的な環境学習への発展が期待される。

夢と感動の修学旅行

人が好き。地球が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

運輸大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会会員

楽しい旅に 大きな安心。

TOKIO MARINE

「学校旅行総合保険」をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社

本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

